

授業科目	イングリッシュグラマー					実務家教員担当科目	-		
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	前期		
担当教員	林 裕二								
授業概要	1. 担当教員が指定したテキストに取り組む。 2. 英語を声を出して読むことができるようになるトレーニングをする。 3. 対面授業で行う。なお、E learning 等に慣れるため、情報処理演習室を使うこともあります。 4. 音声入力の基本を学ぶ。								
授業形態	対面授業				授業方法	講義に加えて、グループワーク、ペアワークも行う。			
学生が達成すべき行動目標									
標準的レベル	1 辞書を使って比較的長い文の読解ができる。								
理想的レベル	1 辞書を使わずに比較的長い文の構造が理解できる。								
評価方法・評価割合									
評価方法			評価割合（数値）			備考			
試験			50						
小テスト			30			0			
レポート									
発表（口頭、プレゼンテーション）			15			0			
レポート外の提出物									
その他			5			自主的発表等の授業貢献度合い			
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング									
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	ナンバリング	-
学習課題（予習・復習）									1 回の目安時間（時間）
テキストの予告課題をしておく。									4
授業計画									
第 1 回	オリエンテーション 大学での英語の学習方法の基本を学ぶ								
第 2 回	テキストの該当箇所の和訳をする。 Unit 1 動詞（1）be 動詞								
第 3 回	テキストの該当箇所の和訳をする。 Unit 2 動詞（2）一般動詞								
第 4 回	テキストの該当箇所の和訳をする。 Unit 3 未来形								
第 5 回	テキストの該当箇所の和訳をする。								

	Unit 4 助動詞
第6回	テキストの該当箇所の和訳をする。 Unit 5 冠詞
第7回	テキストの該当箇所の和訳をする。 Unit 6 代名詞
第8回	テキストの該当箇所の和訳をする。 Unit 7 前置詞
第9回	テキストの該当箇所の和訳をする。 Unit 8 接続詞
第10回	テキストの該当箇所の和訳をする。 Unit 9 進行形
第11回	テキストの該当箇所の和訳をする。 Unit 10 受動態（受け身）
第12回	テキストの該当箇所の和訳をする。 Unit 11 完了形（現在完了／過去完了）
第13回	テキストの該当箇所の和訳をする。 Unit 12 比較
第14回	テキストの該当箇所の和訳をする。 Unit 13 不定詞
第15回	前回までの確認・まとめ
テキスト	1. 本学の図書館にある多読教材 2. NHKのラジオ英語講座：中学生の基礎英語、ボキャブラライダー、ラジオ英会話～ハートでつかめ！英語の極意、英会話タイムトライアル、エンジョイ・シンプル・イングリッシュ、ビジネス英語、ニュースで学ぶ「現代英語」等は続けて利用すると効果的です。 3. TED: Technology, Entertainment and Design（人気の講演動画オンライン） 英語字幕、スピード調整できます。 4. Storyline Online (https://www.storylineonline.net/) 英語圏の子ど向け物語をハリウッドスターが朗読。字幕、スピード調整できます。 5. YouGlish (https://youglish.com/) 単語の発音を実際のスピーチで聞けます。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	日頃の授業の課題について辞書を使い、丁寧に調べるという地道な取り組みが大事です。E-Learning と多読については、入学後のオリエンテーションで説明します。小テストに遅れたら、遅刻となります。延着証明がある場合は、受験可能です。小テストは採点后、返却します。
課題に対するフィ	評価割合の試験（50）は、期末テストが 50 です。 2024 年度までの入学生には、当科目は「基礎英語」の読み替え科目となります。

ードバツ クの方法	
学生への メッセー ジ・コメ ント	